

企業 / 事業所名	社会福祉法人青谷学園				
所在地	〒610-0113 京都府城陽市中芦原 14				
業種	社会福祉事業（障害者支援施設）				
従業員（常勤）	104人（67人）				
認証歴 / 受賞歴	平成26年度～令和5年度 / 平成30年度特別賞、令和元年最優秀賞				
定期健康診断結果の提出先（実施年度）	全国健康保険協会 京都支部（令和4年度）				
がん検診受診状況	肺がん	大腸がん	胃がん	子宮頸がん	乳がん
	100%	100%	100%	94.1%	93.3%
健康づくりの とりくみ	<p>組織的な運営</p> <p>「健康 de 笑顔 大作戦！」をスローガンに掲げ、健康で笑顔あふれる職場づくりに取り組んでいます。</p> <p>理事長や産業医、衛生管理者や労働者代表、施設長、看護師、栄養士等、様々な職種・立場のメンバーと共に、毎月1回、健康経営会議と衛生委員会を協同開催して健康づくりに取り組んでいます。</p> <p>胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がんの健診体制を整え、健診項目にHbA1cを加え生活習慣病のチェック体制も整え、早期発見早期治療を目指し再検査や要精密検査が必要な職員にはきちんと二次検査に行っていただくよう促し、両立支援コーディネーターも増員し、仕事と治療の両立支援体制も整え、健康で長く働いていただけるよう組織的に取り組んでいます。</p>				
	<p>定期的な普及啓発活動</p> <p>がん対策では、2月に厚生労働省の委託事業「がん対策推進企業アクション」のがん対策推進企業パートナー賞「中小企業部門」を受賞することができ、当法人の取り組みが広く認められました。</p> <p>生活習慣病予防対策として、行動変容ステージモデルの5つのステージ（無関心期・関心期・準備期・実行期・維持期）に合わせ、動機づけ・行動のための実行支援・環境づくりを行ってきました。1年目はポピュレーションアプローチ、次の年度はヘルスリテラシー向上、そして今年度は今まで学んだ知識を活かし、実際に行動することを目的とし【節酒・減酒・休肝日+減間食キャンペーン!!】を計画し、参加者を募りました。職員約100名のうち、37名もが参加を希望し、5月・8月・11月の予定で取り組みを開始しています。</p> <p>5月に実施した取り組みに対して、アンケート実施結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャンペーンは、あなたにとって役に立っていますか？ 5点満点中平均4.28点 かなりの高得点で、参加者の役に立っていることが証明されました。 2. キャンペーンは効果がありましたか？ 37名中35名効果があり2名効果なし 行動変容により体重減少や検査数 				

	<p>値改善などの効果があることが証明されました。</p> <p>主に SNS を活用したキャンペーンですので、今回の施策に費用はかかっていません。参加者プレゼントは、事務局長のポケットマネーからでしたし、予算はかけずとも、たくさんの仲間と共に取り組むことで継続して楽しく頑張れたこと、皆がこのキャンペーンに感謝していました。またこれをきっかけにコミュニケーションの輪も広がり、一石二鳥の効果がありました。またお酒を減らすことで家族の時間が増えたという職員もいて、行動変容が家族への幸福にも結びつく結果となった例もありました。</p> <p>せっかく今回のキャンペーン参加で、行動に移せた望ましい生活習慣行動も「継続」「定着」することが肝要であるため、法人としては定期的、継続的に取り組んでいきます。そして、職員には健康で長く元気に笑顔で働いていただける職場環境をこれからも提供していきたいと思えます。</p> <p>全職員でラジオ体操を1日2回、さらに介護職員は始業時にも腰痛予防体操を取り入れ、現在腰痛労災が皆無となっています。</p> <p>業務用体組成計による身体測定を年2回実施し、筋力維持やフレイル予防に役立っています。</p> <p>2015年から年1回メンタルヘルス研修を実施しています。今年度のテーマは「心のトレーニング ～アンガーマネジメントを身につける～」です。毎年様々な文屋の講師を招聘することで、いろいろな角度からメンタルを整える方法を知ることができ、大変好評です。</p>
<p>各種団体との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度より赤十字社の献血バスを招致し、近隣地域の施設や取引業者にも声をかけ、年に2回の献血の機会の提供を開始しました。今後はさらにアナウンスを広げ、職員の健康づくりと共に地域の皆さんの定期的な健康チェックと地域貢献としての役割を果たしていきたいと思えます。 • 厚生労働省と大同生命が主催する「社員の健康維持と、治療と仕事の両立支援」という経営者・人事労務担当者向けのセミナーにゲスト出演し、当法人の費用をかけずに行うがん対策を中心とした健康活動を紹介しました。 • 厚生労働省の働く女性の心とからだの応援サイト特集で、女性も男性も健康でイキイキ働く企業の事例として、取材に応じ、法人の取り組みを公表しています。 • 全国保険協会京都支部が実施する「職場における健康講座」を使用したメンタルヘルスの実施研修の講師招聘やオンライン研修を取り入れています。
<p>退職前・退職時の健康づくり指導</p>	<p>退職後も職員と同様に健康ファミリー青谷学園の仲間として、年に2回の献血及び体組成計による身体測定会の案内をお送りし、是非お越しいただいて健康状態のチェックをしてもらえるような機会を提供します。</p>
<p>健康づくり担当者の設置</p>	<p>健康経営会議と衛生委員会のメンバー全員で様々な健康づくりの取り組みに主体的にかかわっています。</p>

	社内でピンクリボンアドバイザーや両立支援コーディネーターの資格取得も推進し、両立支援できる担当者を増やし、健康に関する様々な相談にも応じています。
受動喫煙対策	健康増進法に基づく受動喫煙防止対策の必要な措置を講じている。
違反規定	過去5年間に重大悪質な事案により、法令違反し処分等を受けたことがない。
ホームページ	https://www.aodani.jp/
メッセージ(R5)	<p>健康保持増進の取り組みは、どんどん発展しています。今年10月のピンクリボン月間では、男性のブレストアウェアネスも取り入れ、女性も男性もピンクリボンバッジをつけて、乳房の健康チェックを行いました。</p> <p>また、生活習慣病予防対策では、「節酒・減酒・休肝日+減間食キャンペーン」と題して、予備軍の仲間を募り社内SNS上で各自の取り組みを発表するなどし、健康診断での結果改善を目指しています。</p> <p>2023年度には新たに献血バスを招致し、近隣の事業所や地域の方にもご協力をお願いしました。献血は社会貢献だけではなく、職員のヘルスリテラシーの向上にもつながり大変有益でした。今後も継続していきたいと思えます。</p> <p>きょうと健康づくり「最優秀賞」「特別賞」を受賞した法人として、職員だけでなくその家族や地域の方々にも健康保持増進を普及するけん引役になれるよう、これからも「健康ファミリー青谷学園」を広めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">業務執行理事 鈴木由里子</p>